

【沖縄県の地理】

沖縄の位置・地勢

日本とアジアを結ぶ沖縄県

沖縄県は日本の南西端に位置し、九州の南に連なる南西諸島の南半分を占める琉球諸島から成り立っています。琉球諸島は大小160もの島々から構成され、南北に約400km、東西に約1,000kmという広大な海域に点在しています。

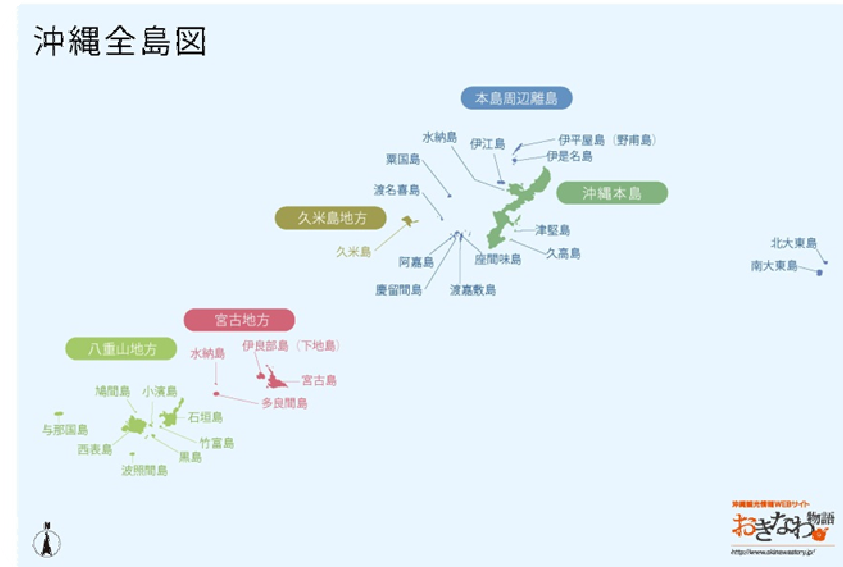
西に東シナ海、東に太平洋を臨み、県庁所在地の那覇市から1,000km圏内には福岡、台北、上海等の都市があり、1,500km圏内には大阪、ソウル、マニラ等の都市があることから、古くから日本本土や東アジア、東南アジアの国々と盛んに交流を行ってきました。

面積は全都道府県中44位

沖縄県の面積は2,276.64km²です。これは日本全国土面積（377,959.91km²）の約0.6%に相当し、全都道府県中44位になります。

沖縄県が属する琉球諸島は、沖縄諸島、先島諸島、尖閣諸島、及び大東諸島からなり、これらを合わせた160の島々のうち49島に人が住んでいます。島別の面積で最も大きいのは沖縄島で、以下、西表島、石垣島、宮古島と続き、これら4島で沖縄県総面積の約8割を占めています。

沖縄全島図



【沖縄県の地理】

沖縄の気候

年間平均気温は23.1度

赤道に近い低緯度に位置し、近海を暖かい黒潮（日本海流）が流れる沖縄県は、1年を通じ温暖な気候で、季節による寒暖の差も小さくなっています。

県庁所在地である那覇市の年間平均気温は23.1度。最も寒い1月の平均気温でも17.0度あります。

年間降水量の平均は2,000mm以上あり、全国でも比較的多湿な地域です。

気候の特色

1月には桜（寒緋桜（カンヒザクラ））が咲き始め、各地で桜まつりが行われます。

3月～4月は晴天で涼しく、「うりずん」と呼ばれる1年で最も過ごしやすい日が続きます。

5月～6月が梅雨。7月になると暑い夏を迎えますが、9月までは台風が多く来襲します。

10月には「ミーニシ」と呼ばれる北東の季節風が吹き始め、沖縄にも短い冬が訪れます。



本部八重岳桜まつり